



岩手県普代村議会

No. 156

令和3年7月28日発行

議 会 だ よ り

ふだい

まだ見ぬ景色が
ここにある

村民の皆さんと議会を結び情報誌。一緒に考えよう、この村のカタチ。

みちのく潮風トレイル
黒崎コース

6月
定例会

滞在型ツアー推進事業など

1億4235万円を増額！

村議会第5回定例会（6月定例会）が6月18日に開催されました。内容は、手数料条例と村営住宅条例の一部改正のほか、令和3年度の一般会計と3特別会計の補正予算など11議案が審議され、賛成多数で原案可決されました。

一般会計
補正予算

補正予算で1億
3782万円増

▽令和3年度一般会計補正
予算（第3号）

歳入歳出それぞれ1億3
782万円を増額し、総額
で36億5859万7千円と
しました。

主な歳入は、新型コロナウイルス感染症対応地方創
生臨時交付金2028万円
歳出は、子ども園園長室
増築工事550万円、公共
施設の社会的環境への適応
事業1795万円、沢漁港
漁村再生交付金事業工事4
000万円、国立公園滞在

大自然を満喫できるみちのく潮風トレイル

型ツアー推進事業795万
円、道路維持費1800万
円などが増額されています。
公共施設の社会的環境へ
の適応事業では、管理セン
ター事務室や力持コミュニ
ティセンターに空調設備を
導入するほか、くろさき荘
大広間へ換気設備を導入し
ます。

沢漁港漁村再生交付金事
業工事は、北防波堤のかさ
上げ延長区間を40mから
57・8mにするもので、当
初予算8000万円に40
00万円を増額します。

潮風トレイル
モデル地区認定

国立公園滞在型ツアー推
進事業では、国立公園での
トレイルを活用したツアー

を実施し、地域のPRを図
ります。
村は、観光庁が進める「日
本版持続可能な観光ガイド
ライン」の2021年度モ
デル地区に選ばれました。
これは、みちのく潮風トレ
イルを活用して、観光や食
を楽しむ6泊7日程度の長
期滞在ツアーを行うもので、
3カ所の宿泊施設で2泊ず
つ宿泊することを想定して
います。本年度のモデル地
区は全国で15カ所。

村では、みちのく潮風ト
レイルのほか、国指定重要
無形民俗文化財「鶴鳥神楽」
の定期公演や普代浜園地キ
ラウミでのビーチヨガにも
取り組んでおり、豊かな自
然と郷土芸能を生かし、観
光客の誘致を目指します。

定例会で決まった議案

議案番号等	議 案 等	審議結果
議案第1号	令和3年度 普代村一般会計補正予算（第3号） 補正額1億3782万円を増額し、歳入歳出予算の総額を36億5859万7千円とするもの。 歳出の総務費では、新規漁業者育成協議会補助金（新規3名・漁家子弟1名分）や地域おこし協力隊・移住定住コーディネーターの件費などを増額。 民生費では、低所得者の子育て世帯への新型コロナウイルス感染症生活支援策として、特別給付金（児童1人当たり5万円）を支給。 子ども園費では、園長室増築工事を増額。衛生費では、新型コロナウイルス感染症対策に係る各公共施設の空調設備工事費や村内スクールバス等（9台）の抗菌施工委託料などを増額。 観光費では、国庫補助で採択された国立公園等での滞在型ツアー、ワーケーション推進事業のほか、上質化に併せた観光資源利用促進事業で国民宿舎くろさき荘の屋外喫煙所を整備するための工事費、また昨年度から開催されている音楽イベントへの事業補助金を増額。一方、ふだいまつりは今年度も中止となったため、補助金を減額する。 水産業費では、沢漁港漁村再生交付金事業工事で、国庫配分が増額となり北防波堤のかさ上げ分を増額。土木費では、村内3カ所の道路補修工事と普代橋橋梁補修工事の増額。また、上区村営住宅の擁壁設置工事（大雨時の越流等による住宅への被害防止策）と茂市地区住宅改修に係る修繕料を増額。	可 決 (全員賛成)
議案第2号	令和3年度 普代村国民健康保険特別会計補正予算（第1号） 補正額330万5千円を増額し、歳入歳出予算の総額を4億180万5千円とするもの。 特別調整交付金による特定健診等受診率向上対策業務委託料の増額。	
議案第3号	令和3年度 普代村国民健康保険診療施設特別会計補正予算（第1号） 補正額71万8千円を減額し、歳入歳出予算の総額を2億638万2千円とするもの。 給与費等の調整による減額が主なもの。	
議案第4号	令和3年度 普代村簡易水道特別会計補正予算（第1号） 補正額195万円を増額し、歳入歳出予算の総額を9965万円とするもの。 落合地区にある秋牛簡水施設の配水管漏水に係る修繕料の増額が主なもの。	
議案第5号	普代村手数料条例の一部を改正する条例 個人番号の利用等に関する法律の一部改正により、個人番号カードに係る事務経費が交付税措置となり、村窓口での徴収が不要となったもの。現行の再交付手数料（1件800円）を条例から削除。施行期日は令和3年9月1日。	可 決 (賛成多数)
議案第6号	普代村村営住宅条例の一部を改正する条例 令和3・4年度解体予定の南浜住宅（16戸）を条例から廃止し、新たに令和3年6月下旬に改修完了予定の茂市地区住宅（1戸）を追加するもの。施行期日は令和3年6月18日。	
議案第7号	財産の取得に関し議決を求めること 村道普代平井賀線他道路改良工事等及び将来の公共施設等整備予定地として、村が買収するもの。土地22筆（田・雑種地・山林ほか）、面積は10万1486.76㎡、取得金額は7516万7180円。	
議案第8号	普代村教育委員会委員の任命に関し同意を求めること 教育委員会委員の退任に伴い、新たに中村英伸氏（中央区）の任命に関し同意を求めるもの。任期は、令和3年7月1日～令和6年9月30日まで。	同 意 (全員賛成)
報告第1号	令和2年度 普代村一般会計予算繰越明許費繰越計算書 合計で25事業、6億6750万1千円を令和3年度へ繰り越し。（3事業は5月末で完了済み）	—
報告第2号	令和2年度 普代村一般会計予算事故繰越し繰越計算書 令和元年度予算の繰越事業としていた、7事業、1億2812万8千円を令和3年度へ繰り越し。	
報告第3号	令和2年度 普代村簡易水道特別会計予算繰越明許費繰越計算書 白井簡水配水管布設工事の繰越分411万円を令和3年度へ繰り越し。（5月完了済み）	
発議案第1号	普代村議会会議規則の一部を改正する規則 標準町村議会会議規則の一部改正に伴い、男女の議員が活動しやすい環境整備の一環として、育児、介護など議会への欠席事由を整備するもの。並びに、一般質問に現状の運用のとおり、一問一答方式と持ち時間を明記するほか、文言訂正といった軽微な修正を行うもの。	可 決 (全員賛成)
発議案第2号	「教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書」の提出 国の施策として、定数改善にむけた財源保障をし、子どもたちが全国のどこに住んでも一定水準の教育を受けられるよう、計画的な教職員定数改善を推進することや義務教育費国庫負担制度の負担割合を引き上げを国に要望するもの。	
発議案第3号	「公務・公共サービスの拡充を求める意見書」の提出 行政機関職員の人員削減が行われないよう、総定員法の廃止と定員合理化計画の撤回、また非常勤職員の安定雇用制度を整備することなどを国に要望するもの。	

6月定例会での質疑

議案第7号

財産の取得利用構想

大上智 議員



問 取得予定地（村道普代平井賀線・普代駅前5号線沿い）の取得利用構想は。

答 榎屋村長

普代平井賀線道路拡幅のほか、将来の宅地化や公共施設建設などであるが、今現在、具体的な構想は持っていない。だが、将来、公共の利益のために供すると見込まれる土地について、自治法上、認められる範囲において基金で購入できる取扱いになっている。



取得予定の土地

討論！

反対 利用目的未確定の財産取得は時期尚早
大上智議員

この財産取得にあたっては、今のところ取得の利用目的が未確定であり、取得は時期尚早と言わざるを得ない。村民に取得の目的・理由を説明でき、必要に駆られての財産取得とすべきである。

議案第1号

イベント開催補助金

正路正敏 議員



問 7月末に民間主導のイベントが企画され、将来にもつながり大変いいことだと思う。100万円の助成で間に合うのか。

答 山崎農林商工課長

ジョイフルデーと音楽イベントで当初100万円を計上していた。その後、音楽イベントの事業拡大の追加要請があり、事業費300万円を上限に3分の2の200万円を補助するため、今回100万円を増額した。

議案第1号

園長室の工事理由

森田幸一 議員



問 子ども園が開園になってから時間が経過しているが、この時期に園長室の増築をするには何か特別な理由があるのか。

答 菅野教育次長

来客対応や職員面談などに使用する部屋の整備の要望があり、計上したものの。

議案第1号

漁業以外への補助の考え

古沼和也 議員



問 漁業者育成に補助金を出して支援していることは大変いいことであるが、他産業にも同様の支援をする考えがあるか。

答 榎屋村長

各産業団体とも相談をしながら、産業の実態にあった取り組みを進めたいと考えており、ぜひ議員さんからの提案もいただければと考える。

6月定例会での質疑

議案第1号

道の駅開業予定

金子泰男 議員



問 道の駅開業はいつになるのか。また、内外に向けたテレビなどのPR・イベント等も予定しているか。

答 榎屋村長

大々的なオープンの式典は行わず、徐々に使っていく中で9月頃には全体が動けるように考えている。青の国の活用・協力でオープンよりも先々の取り組みが大事というような思いで取り組んでまいりたい。



トイレや駐車場の工事が進む普代駅

議案第1号

普代橋工事遅延の説明を

中上一登 議員



問 普代橋の工事遅延について、前回の会議で多くの意見が出た。説明する場をしっかりと設けていただきたい。

答 榎屋村長

受託業者と相談をして議員への報告の場を設けたい。

報告第1号

新魚市場整備の進捗

大上智 議員



問 新魚市場整備計画検討業務委託の進捗状況は。

答 大村建設水産課長

コロナ禍で対面での打ち合わせはできていないが、Web会議等で順調に進んでいる。

議案第1号

ワクチン接種の進捗

嵯峨典行 議員



問 ①ワクチンは順調に村に入っているか。
②高齢者の接種終了予定は。
③64歳以下の接種終了予定は。

答 道下住民福祉課長

①これまでに配給されたワクチンは2,145回分で、今後、6月中か7月中旬の配給予定。
②65歳以上の高齢者の完了予定は7月末の見込み。
③64歳以下については、10月中旬見込みである。



ワクチン接種が行われている診療所



大上 智

認知症養護家族への支援策は

家族を支援する視点重要 榎屋村長

質問 年々、増加傾向にある認知症高齢者と養護する家族への支援策を伺う。

答弁 榎屋村長 高齢者の養護と世話をする家族を支援する視点が極めて重要と言われている。村では、認知症への理解の普及浸透や地域全体で支えていく環境づくりのため、サポーター養成研修を令和元年度に開催し、地域の方々や事業所関係者など20名の参加をいただいた。

た。今後、毎年度10名のサポーター養成を目標に取り組みたい。また、近隣の認知症サポーターがチームを組み、支援を行うチームオレンジの活動等で養護家族の支援・認知症バリアフリー化の推進に取り組む考えである。

質問 認知症高齢者の介護は虐待の起因となり得るが、防止策は。

答弁 榎屋村長 地域包括支援センターから社会福祉協議会

に生活支援コーディネーターを2名配置している。これに加え、専門家同伴などの巡回訪問で状況をつかみ、支援するなどの施策が家族のストレス緩和に重要と考えている。

地域共生社会の実現

質問 障がい福祉計画の基本理念「地域共生社会の実現」に対する施策を伺う。

答弁 榎屋村長 実現可能な取り組みには、障がい者の方々、養護の方々、それを判定する専門家の方々、立ち上がり支援の仕組みを考える方々との一体となった取り組みが必要であり、時間をかけて対応している。引き続き充実するよう取り組む。

ヤングケアラーの実態把握

質問 村のヤングケアラーの実態をどの程度把握しているのか伺う。

答弁 榎屋村長 ヤングケアラーの把握調査は実施していないが、要保護児童対策地域協議会とも情報共有しており、現在までヤングケアラーの確認報告は受けていない。もし確認された場合は、必要な支援措置を講じる考えである。

質問 教育委員会でのヤングケアラーについての見解は。

答弁 三船教育長 児童生徒にそのような事態が起きた場合、同協議会に諮り、ケア自体を否定するのではなく、児童生徒がケアを担わなくても済むような支援・対策を探りたい。

※ヤングケアラーとは、家族や世話をしている18歳未満の子どものこと。令和3年4月の文部科学省の調査では、中学2年生では5.7%、全日制の高校2年生では4.1%という数値が出ています。



定住促進助成の拡充を

民間への適用は難しい 榎屋村長

質問 村には、村営住宅を超えた家賃を助成する「ふるさと定住促進助成制度」があるが、現在、村営住宅は空きも少ない状態である。そこで、村営住宅を補完する住宅として、民間賃貸住宅にも入居基準を設け助成すれば、定住促進になると考える。制度を民間賃貸住宅にも広げる考えはないか伺う。

答弁 榎屋村長 本助成制度は、公営住宅法に基づき、戸数住宅12棟、堀内住宅6棟、そして普代駅前住宅10棟の家賃が一定基準を超えた場合、超えた分を助成し定住促進につなげています。昨年度は28棟中11棟が該当し、110万2千円の助成をしています。

中上一 登

答弁 榎屋村長 この助成制度の住宅は、補助基準に沿って一定の設備水準で建設をされており、全て合併処理浄化槽を備え、家賃についても国のルールどおりに毎年の



新しく整備された村営住宅（上区）

収入で算定されるなど、明確な基準の下で助成を行っている。

一方、民間賃貸住宅は、ほとんど浄化槽がなく村営住宅とは設備等々の違いが大きく、家賃についても収入に関係なく決まっており、民間の賃貸住宅に助成をすることは難しいが、定住促進に資するような制度の検討をさせていただく。

終活支援の考え方は

質問 2020年9月末時点での普代村の高齢化率は、41・9%に達し、高齢者のみの世帯は163世帯、高齢者の単身世帯は240世帯、合わせて403世帯になっている。2018年に40歳以上の男女592人に対して行われた自治体の終活支援に関する

意識調査では、自分もしくは家族の終活支援をしてほしい機関として、1位が「自治体」で59・4%、2位が「介護施設」で25・3%、3位が「医療機関」で23・5%となっており、終活に対する何らかの不安を抱えている人は多くいるのではないだろうか。「エンディングプランサポート事業」などの名称で実施している自治体もある。村長の考え方を伺う。

答弁 榎屋村長 超高齢化社会に突入している中で、終活支援サービスに取り組む自治体が着実に増えている。村においては、エンディングプランや尊厳死について多くの村民の方々の参加をいただいた際の講演会を開催している。その中でエンディングノートを配布し、使い方・考え方を書き方等を説明するなど状況を見つつ、適宜の取り組みを見計らいながら取り組めればと考えている。

総務常任委員会調査報告書

1 調査の日時及び内容

令和3年5月25日（火）午前11時30分から午後4時30分

- ①くろさき荘運営状況
- ②コロナ禍における災害時の指定避難所の運営
- ③学校におけるICT環境の整備・運用

2 視察者

委員長 大上 智 副委員長 大上 浩史 委員 中上 一登、正路 正敏

3 調査の概要及びまとめ

①くろさき荘運営状況

宿泊者のアンケートでは、「夏に冷蔵庫がほしい」「金庫がほしい」といった意見があったとのことで、正当性があるものについて実施を検討していただきたい。ほかに、現場スタッフがよい考えを持っていると思われるため、担当課は現場との連絡を小まめに行い、課題の把握と改善策を検討願う。

②コロナ禍における災害時の指定避難所の運営

避難者用の名札があれば受付が円滑になるのではないだろうか。岩泉町では、住民へ事前に用紙の記載をしていただき、それを避難時に持ってきていただいているとのことであった。そこで、住民基本台帳システムの情報と世帯番号を用いた名簿を作成して、「1-001 黒崎の普代昆布さん」といった名刺大のカードを作成することで、避難所での受付を容易にできないだろうか。

また、事前に持病や血液型などの情報を任意で求めるなどして名簿の充実を図り、避難所での負傷や体調変化に対処できるよう検討していただきたい。コロナ禍での避難所運営は難しい面が多くあると思われるが、他も参考にして最善の方法を検討していただきたい。

なお、期限を迎えた食料について、防災訓練などで使用しているとのことだが、訓練に参加しない方もいるため各地区に配布することを検討してはどうか。

③学校におけるICT環境の整備・運用

導入機器の使用で教員や児童の負担が増えると思われるため、教育委員会にはできる限りのサポートをお願いしたい。また、機器の基本操作について業者から教員に説明をしているが、児童に対してはしていないとのことであった。児童に対しても、必要に応じて対応を検討していただきたい。



最大で4区画に分けられる大型のテント



ICT環境説明の様子（普代小）

産業経済常任委員会調査報告書

1 調査の日時及び内容

令和3年4月23日（金）午前9時から午後3時30分

- ①田野畑村道の駅視察
- ②普代村道の駅整備状況と駅舎運営状況
- ③黒崎園地修景改善工事と園地周辺伐採業務

2 視察者

委員長 古沼 和也 副委員長 森田 幸一 委員 嵯峨 典行、金子 泰男

3 調査の概要及びまとめ

①田野畑村道の駅視察

飲食やトイレ利用のほか、研修室と多くの分野での利用が期待できる。また、敷地内に宿泊施設があり、要望している三陸沿岸道路のインター設置が実現すれば大きな集客が見込まれる。一方で維持経費が懸念されるため、村では年間の利用客数を適切に想定した整備運営を希望する。

②普代村道の駅整備状況と駅舎運営状況

道の駅整備状況では、ホームに通じる階段の老朽化と駅舎の階段のサビが目立つため、塗装をするなど対応を検討していただきたい。また、三陸鉄道や車で初めて来村する方のために、駅舎の全体図が青の国の入口があればよいのではないかと。

駅舎運営状況では、青の国の販売スペースは品揃えも多く通行しやすい配置であり、買い物をしたいと感じる空間であった。ここに落合産直の商品を販売するなど、産直とも連携をしたい。

軽食について、田野畑村の「たのはた生乳ソフト」や野田村の「のだ塩ソフト」のように、村でも「コンプソフト」のほかに旧参拾伍番館で提供されていた「ハウレンソウのスムージー」など、村にちなんだものがあれば魅力的である。

今後、三陸沿岸道路の全線開通を控え、最後の完成となる普代野田間には多くの取材が想定されるため、これを生かし、村の情報発信を行っていただきたい。

③黒崎園地修景改善工事と園地周辺伐採業務

黒崎園地修景改善工事では、別館跡地を芝生で整備してバーベキュー用のスペースを設けるなど、食堂のほか、外でも食事をとれるよう選択肢の幅を広げ、観光客の確保をしていただきたい。

また、アンモ浦展望台へ通じる階段の手すりが壊れているため、同工事での修繕を急ぎたい。

園地周辺伐採業務では、食堂や風呂、アンモ浦展望台からの景色をよくするため、可能な範囲での木の伐採と安全柵の設置を早急に行い、園地全体の構想を検討していただきたい。



整備状況説明の様子（普代駅）



木を伐採したいアンモ浦展望台

3/29 第3回臨時会

審議した案件は、令和2年度一般会計補正予算（第16号）のほか、第5次普代村総合発展計画基本構想の策定などについて全員賛成で可決しました。

▽令和2年度一般会計補正予算（第16号）

補正額3億4944万3千円を減額し、総額を44億6686万1千円としました。年度末による事業費確定によるもので、歳出では、主に台風第19号災害復旧費3億2108万1千円の減額。国庫負担金の配分額確定による事業費の減となります。そのほか、除雪回数削減により道路維持費1085万円を減額しています。

▽第5次普代村総合発展計画基本構想の策定について

平成23年3月に策定した第4次普代村総合発展計画基本構想の計画期間満了に伴い、5年間の新たな基本構想が策定されました。

総合発展計画とは、計画的に村政運営を進めるための指針となる最上位の計画です。村のホームページにも載っていますので、ご覧いただければ幸いです。

5/17 第4回臨時会

審議した案件は、令和2年度普代村一般会計補正予算（第17号）や普代村村税条例等の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについてのほか、令和3年度一般会計補正予算（第2号）などについて全員賛成で承認・可決しました。

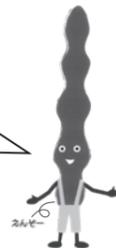
▽普代村村税条例等の一部を改正する条例

個人村民税の非課税の範囲見直しのほか、軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長及び種別割のグリーン化特例の見直しなどが行われました。

▽令和3年度普代村一般会計補正予算（第2号）

補正額6449万2千円を増額し、総額を35億2077万7千円としました。国立公園上質化に併せた観光資源利用促進事業は、普代浜園地の太田名部側の堤防付近に3台分のRVパークを整備するもの。

RVパークとは、欧米ではごく一般的に提供されている「安心・安全・快適」な車中泊施設です。日本RV協会のホームページによると、全国の道の駅やキャンプ場などの連携により、全国各地にオープンされる予定とのことです。



村民の皆さんにお知らせしたい 柎屋村長の行政報告



主要事業等の進捗状況

道の駅整備は、増設トイレなど諸整備を8月末完了予定で進めております。利用可能となった部分から順次に供用しており、9月上旬には全体供用となります。

萩牛線改良は10月中旬に完成。堀内中央線改良は12月末完成予定。普代橋補修・補強は8月末完成予定。黒崎4号線改良は9月中旬に完成。普代平井賀線改良と南浜住宅解体は7月中の発注予定。旭日区地域活動拠点施設は7月には工事発注し、来年1月末の完成予定です。

新規漁業者育成事業は5年間で10名の育成をし、今年度は4名を育成対象としました。

感染症対策

65歳以上の高齢者1,136人のうち、6/18時点で約6割が接種し、うち2回目を接種した方が約3割となります。7月末までには希望される高齢者の接種が完了できる見込みであります。

19～64歳の方々への接種券は本日6/18発送となり、7月の第3週頃から接種できるよう準備いたします。なお、12～18歳の方々には、保護者の同意が必要となりますので、意向確認を行った上、接種方法を決定し案内をさせていただきます。

また、諸行事での感染防止を期す観点から、成人式とふだいまつりを中止とさせていただきますので、ご理解のほどお願いします。

くろさき荘の運営状況

前年度実績は、利用者数が宿泊で前年度比1,077人減の7,104人となり、会食等を含めた全体で4,552人減の2万2,241人となりました。営業収入は、旅館利用が662万円減、食堂が1,671万円減など全体で2,399万円減の7,396万円となりました。コロナ禍での旅行や会食等の自粛が主な要因であります。

本年度の状況は、5月末の宿泊数で前年度比384人増の1,185人、営業収入は同じく612万円増の1,383万円となっております。昨年度の反動もあつての状況と思いますが、段階的に東北エリアを越えての誘客を図るとともに、4～5月の利用実績が16人に止まった番屋めし（コロナキャンセルが356人）利用の回復を期すなど、収入の確保に努めてまいります。

令和元年台風災害復旧事業の進捗

公共土木等施設は、水道と河川は全部完了いたしました。林道堤線が9月末の完成で施工中です。

上区地区の雨水排水は、6月25日に地区説明会を開催し、7月中旬にポンプ場などの設計業務を発注するよう取り進めます。

県の災害対応事業では、普代の沢砂防堰堤が契約済で、来年7月の完成予定で着工となりました。沢川砂防堰堤の堆積土砂除去は、9月中旬の契約予定であります。

沿岸知的障害児施設組合の解散

老朽化により、「はまゆり学園」を民設民営で建て替え、その運用が令和4年4月に開始となることから、令和5年3月に組合を解散することとしております。



V O I C E 未来予想図 Fudai



漁業補助金の周知を

おおた よしたけ
太田 吉孟さん(20)

好きなのは自然が豊かなところです。

父が漁師ということもあり、漁師になりました。養殖コンブやワカメのほか、八戸に行き、イカ釣り漁をしています。早いときには日付が変わる時間に海に出るのでつらいときもありますが、このきれいな海を見ていると頑張ってみようと思えます。

村には新規漁業者への補助金があるので、これをもって村内外にPRすれば漁業に挑戦する人も増えるのではないのでしょうか。あとは、コンビニがあればいいですね。😊



気軽に集まれる場所を

こばやし ゆき
小林 憂子さん(26)

普代村は言葉が優しくおだやかな雰囲気があり、とても好きです。村の方も優しくあたたかく、素敵な村だと思います。また、展望台から見た普代の海の広さには感動します。

今のご時世もあり、どんなことでも人と直接会って話すことの大切さをより一層感じています。村の方が気軽に集まれる場所が増えてほしいですし、食生活改善推進員の皆さんとも、村の皆さんが楽しく集まれる機会を作っていけたらと思います。

私は、相談しやすいということは非常に大切であると思います。保健センターの管理栄養士として、村の方々にとって相談しやすく、頼られる存在になれるよう頑張りたいと思います。😊



正路広報副委員長

広報委員からの返信

最近では少子高齢化に伴い、漁業の担い手が減少しています。そのような中であって海での生業を選ばれた事に今後の漁業に明るさを見る思いです。そして10年~20年先を見ながら自然の営みを理解し、これからの海のありようを考えながら仕事に励んで下さい。

新規漁業者は本年4人が助成を受け就業しております。広報、回覧等で案内はなされておりますが、仲間づくりの面でも口コミでの勧誘もお願いし、今後の活躍を期待しています。



古沼広報委員

展望台からの景色は素晴らしいですよ。ほかに、アンモ浦展望台という素晴らしい景色の場所があるので、ぜひ行ってみてください。

今はコロナ禍で交流の機会が減っていますので、皆さんが楽しめる場所をぜひ作っていただきたいと思います。また、栄養士のほか、村外出身者としての目線を持ちながら業務に当たっていただければ、村にとって非常にプラスになると思います。業務も大切ですが、村の歴史や伝統などを知って楽しんでください。期待しています。

議長	中村 裕
発行責任者	
議会広報常任委員会	
委員長	嵯峨 正典
副委員長	大上 正智
委員	古沼 和也

あしがき

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種も進み、議会だより発行の頃には64歳以下の方々も大分接種が進んでいるものと思います。これから暑い時期になります。接種をする方もされる方も体調管理には十分注意してください。早く普通になることを願っています。

(正路正敏)

岩手県でもワクチンの集団接種が始まりました。私は集団免疫確保のために接種しますが、接種は個人の判断となりますので、疑問点があればかかりつけ医や保健センターなどに確認してみてください。世界中で豪雨による被害が出ているようです。自分はどこに避難すべきか、避難する際に何を持っていくかなど、災害を想定して自分を守るための行動を再確認しておきたいと感じています。

(古沼和也)

今回の「議会だより」は、いかがでしたか。皆さんの声をお待ちしています。一緒に考えよう この村のカタチ。

ふだい議会だよりはスマートフォンでもご覧いただけます。



発行日 令和3年7月28日 ■発行 普代村議会 ■編集 議会広報常任委員会
〒028-8392 岩手県下閉伊郡普代村第9地割銅屋13番地2
TEL 0194-35-2118 FAX 0194-35-2712